

いくぞう通信

議会レポート

No.27号

2020年12月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792
TEL・fax 0282-55-8776
携帯 090-9010-7042
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

12月議会は11月28日から12月16日までの20日間で、補正予算、条例改正16件、土地開発公社等の解散2件、指定管理者の指定9件、小中学生のタブレット財産取得2件、文学館変更工事契約1件、人権擁護委員2名などを議決し閉会した。詳しくは議会広報等をご覧ください。



市行政大丈夫なのか？…再び訴えます！

議会の農業研修会で…南斉副市長が暴言

「農業ビジョンを作る能力は、市内農業者と職員にない」

針谷「再び市の行政大丈夫なのかの危惧を述べざるを得ない。11月17日、「県、市の農業について」県職員、副市長から講演があった。「市農業ビジョン」の評価と総括について聞いた。副市長は「評価できない、市職員には専門家がいないので作れない」と断

私のこの発言を「通告にない」と議員からクレームがついたが、議会の役割は①行政をチェックすること、②議決、決定すること、③政策を提案することである。大事なチェ

言。余りにも見下した言葉に啞然とした。副市長は市のナンバー2である。農業の専門家であることは認めるが、**暴言は許されない**。猛省を促したい。「職員、市民に誇りを与える副市長であって欲しい」**市民にとって悲劇ではすまされない**

ック機能を放棄して「何でも賛成」では、議会不要論につながる。議会への警鐘であることを自覚、反省しなければならない。市民の皆さんは議員をチェックしているのです。

質問1 サッカースタジアムについて

針谷「根拠とプロセスを決定前にするのが、「説明責任」

市長「市民への説明は、今後適切に行う」

針谷「市長は説明責任を9月議会で約束したが、いまだ説明はない」

市長「サッカー施設が整備中であり、それらを見極め知らせたい」

針谷「市長が知らせないから、新聞折り込みで実態を市民に知らせた。

その感想は？

市長「多様な意見の一つと認識している」・・・反省の言葉なし。

針谷「市民は怒っている。

使用料、固定

資産税を納めなくていいことになれば、

税金を納めな

い人が出てくる。口座振替を現金に変更し、見極めて収める声もある」



納税者(市民)として、10年間・・・納得出来ない！

年間・土地使用料1300万円、固定資産税300万円無料

公平、公正性が無ければ・・・ 行政は信頼できなくなる

信頼の証が納税です。私達は使用料も、固定資産税も、信頼し、市民のために

使われるから納税しているのです。それを「日本理化工業所」に納税免除とはあまりにも酷すぎる。やってはいけないことです。

スタジアムは日本理化工業所の所有・・・土地は市の所有地

おかしな関係が10年続き・・・市は「乗っ取られないのか」？ 心配の声あり！

どんな理由をつけても多くの市民は納得していない。主権者である市民をないがしろにする市長判断は、市行政の

自殺行為、市長の職権乱用であり、法令順守も見られない。誤りを正すことに躊躇はいらない。今からでも遅くない。

質問2 ICT教育について

子どもの健康被害を防止するため、電磁波規制基準を

学校で出来る対策は、使用時間の制限をすること

「ICTの活用は健康面での悪影響があることを認識し、教室での活用を考える必要がある」と山形大学の山縣教授、

日本小児学会、日本弁護士会も電磁波による健康被害を心配し、提言している。



一人1台の配置で、学力は向上するのか？

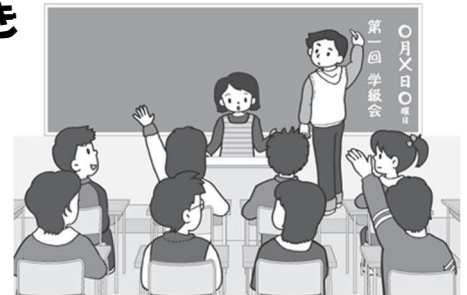
情報活用能力、個別学習、遠方とのコミュニケーションが可能となる

針谷「ICT教育の取り組みは」
教育長「学校教育情報化推進基本方針を整え、2021年4月から一人一台配置します。教職員の研修、子供たちには

時間を区切り毎日使用することを考えている。家庭環境調査の結果を踏まえ、持ち帰りなど保護者に説明し、どの子にも機会均等になるように保証したい」

教育とは何か・ICTは補助教材にとどめるべき

教育長「教育とは、確かな学力、豊かな人間性、健康と体力のバランスを取りながら、子供たちが、生きる力を育むことです」



質問3中期的組織の見直しについて

総合支所の産業振興課廃止は、サービスの切り捨て

災害、地域農業の対応が、出来ないのではないか？

針谷「前鈴木市長は合併協定書で総合支所を残すこと明言し、大川市長もそれを踏襲してきた。今、総合支所の産業振興課の本庁統合は公約違反でないか」

市長「行政需要の変化、縮小のためであり、極力来庁者が本庁へ出向かなくても用件が済むよう配慮する。」

財務部長廃止で、県内市町・・・ワースト6番

(市ワースト3番)税金収入率は上がるのか？

針谷「県内下位の成績が、財務部長を廃止して収入率は上がるのか」永島
総務部長「経営管理部に、税務部門を

移してやるので低下しないと考える」
「税金を集める人数は、同じ規模でやるので機能低下はないと考える」

県平均96% 栃木市94.3% その差1.7%大丈夫か

反対討論から
針谷「県内平均まで収入率を上げると3億7400万円の増収になる。市の大事な税金徴収は大丈夫なのか。経営管理部の税務課、収税課に任せてよいのか。国でも財務大臣は閣僚のNo.1である。司令塔を

廃止する意図が分からない。専門部長がいなくなり収入率向上にだれが責任を持つのか。職員のモチベーションは上がるのか。ここでも財務部長廃止は自殺行為に等しい。やめるべきである」

教育委員会の部長廃止…職務権限の弱体化にならないか？

針谷「コロナによる一斉休校、栃木第4小学校の給食調理員の人権無視の配置転

換、来年度4月からの民間委託予算計上など、教育委員会の同意もなく進められ

ている現状があり、権限が侵されている。それに異を唱え、本来の職務権限に戻るのが部長の役目である。(しかしイエスマンの姿も事実) 部長制度がなくなれば益々教育委員会は弱くなる」

永島総務部長「教育研究会と総合教育会議を通し十分意見交換を重ねてきたので問題ないと考える。

この採決に反対したのが5人だけ。白石、川上、内海、茂呂、針谷(育)議員

産業振興課の廃止に怒っていた議員も・・・最後は賛成・・・なぜ？

昨年から問題となっていた総合支所問題、結局賛成多数で議決した。旧町(藤岡、岩舟、大平、都賀、西方)選出の議員は当初認めないとすごい剣幕だった。あの怒りはどこに行ったのか、猫のようにおとなしくなり、おまけに賛成討論までしてしまった旧町選出の議員。地元民を捨てたという反省もない。「地元の皆さんに迷惑をかけないよう

配慮する」当局の言葉を鵜呑みにするのはあまりにも人が良すぎないですか。市民の意見、利益を代表するとは、選挙の時なのですか。言ったことに責任を持つ、それが議員の最後のよりどころです。「駄目なものはダメ」が何で貫けないのか。反対議員は、白石、川上、内海、茂呂、針谷(育)のみ。

今度も優遇・・・湯楽々館・指定管理で日本理化工業所を

岩舟健康福祉センター(湯楽々館)の管理が、宮ビルサービスと日本理化シェアードソリューションズが受託。(5年間2億6558.2万円・年間5311.6万円)今までの地元のトレーニング専門業者を外して受注したようだ。

市幹部の強い指導があり宮ビルもパートナーを変更したと聞く。ソリューションズはトレーニングジム指導の経験はない。またしても日本理化への便宜が図られ、巷の噂が現実になってしまった。議会では8人が反対した。

地元の意見は聞かず・・・とちぎ蔵の町観光館条例改正を可決

ホールを事務所で貸し出すのが理由とか・・・

この件でも当局のゴリ押しが目についた。利用団体の十分な意見も聞かないでホールの貸し出し中止を提案してきた。事務所貸し出し賃料60万円を当て込んだようだ。産業教育常任委員会では5団体から意見を聞いたが、「新聞で初めて知った」などの意見もあり、当局との温度差を感じた。「市の商店街

をどうするかを考えて利用してきた団体」が怒るのも当然である。市がその自主性を摘んでどうするのかと感じた。賛成19、反対9で改正されたが、付帯決議(団体の了解が得られなければ執行しないこと)が付けられた。これもあてにならない決着となった。

デスクペン 市当局の介入で・・・教育委員会の弱体化が進むのか？

教育委員会への市当局の介入が明らかになった。内海議員が「給食の民間委託指示は誰がしたのか」の質問に、副市長は「指示したと思います」と答弁した。教育委員会の専権事項に市当局が介入していることが判明、

これには驚き、呆れた。教育委員会は市の下部機関ではない。教育を当局の言いなりにしてはいけない。子どもの未来に責任を持つ教育委員会に「頑張れ」のエールを送る。チェックの重要性を確認した議会だった。